

議会の動き

栃木県さくら市議会 総務常任委員会の行政視察を受け入れました

《視察の内容》

令和6年12月6日

● 廃校を利用した地域活性化の取り組みについて
(七会町民センター「アツマーレ」の概要について)

● 対応議員：三村議長



傍聴者報告

第4回議会定例会

令和6年12月3日～10日

合計49人

ホームページに「議案書」を載せています

定例会の議案書をホームページに掲載しています。
各議案の詳しい内容については、議案書をご覧ください。

次回の定例会は、令和7年3月4日からを予定しています。

傍聴される方は、本庁3階議場前で傍聴受付簿に必要事項を記入し、ご入場ください。
議場の傍聴席の定員は30名です。

日程など詳しいことは議会事務局またはホームページでご確認ください。

TEL.029-288-3111 (内線302)
<https://www.town.shirosato.lg.jp>



車いすでの傍聴も出来ます。

研修報告 広報委員会

令和6年9月25日に、全国町村議会議長会による広報クリニックを受講して参りました。



今回の研修は、いかに議会だよりを読んでいただくかについて、3名の講師それぞれ視点からの講義でした。

読んでもらうため、手に取ってもらうための、デザイン・レイアウトの仕方、写真の撮影方法なども具体的で、とても有意義で実りのある研修となりました。

今回研修で学んだことを取り入れ、町民に読みやすく関心を持ってもらえる、そして町民参加の広報紙づくりを心掛けていきたいと感じました。

議会ホームページに、各委員会ごとの研修報告書を載せています。ご覧ください。

議会事務局 をクリック⇒ 研修報告 をクリック

研修報告 議会運営委員会

令和6年10月31日に、宮城県七ヶ浜議会を研修して参りました。



七ヶ浜町議会は、議会活動の幅を広げるための通年議会の導入や、広報委員会を常任委員会化し、広報分科会と広聴分科会を設置することで広聴機能の充実を図るなど、様々な議会改革を行っています。

説明の中で、通年議会は議会主導でできることが増える一方で、円滑な議会運営のためには町長との情報共有やすり合わせがさらに重要になるとのことでした。

ご出席いただきました七ヶ浜町議会議員の皆様との質疑応答、意見交換の中で、今後の城里町の議会運営に参考になることも多く、有意義な研修となりました。



研修報告 総務民生常任委員会

令和6年11月13日に、道の駅たかねざわ元気あっぷむらを視察して参りました。



道の駅たかねざわは、令和2年の既存温泉施設「高根沢町元気あっぷむら」のリニューアルに向けて道の駅登録しており、当町の道の駅かつらリニューアルの参考になればと、研修先に選定しました。

高根沢町では、この施設を指定管理者に委任していましたが、思ったように入場者が増えていないことから今年度末の指定期間終了後は継続せず、新たに町出資の新会社を設立し、そちらへの指定管理を予定していることでした。

また、元気あっぷむらは温泉施設であるので、やはり修繕費用などではご苦労されているようでした。当町のホールの湯の運営に通ずるものがあり大変勉強になりました。



研修報告 教育産業常任委員会

令和6年11月13日に、茂木町有機物リサイクルセンター「美土里(みどり)館」を視察して参りました。



地域の未利用資源(生ごみ、牛糞、落ち葉、おがこ、もみがら)のたい肥化や、廃食油からバイオディーゼル燃料を製造しリサイクルする(場内で軽油に混ぜて使用)。

原料の一つである落ち葉について言えば、収集は農家の冬場の収入源になり、里山の景観も良くなる、収集する町民の健康増進にもなるなどのたくさんの良い副産物がある。

施設の運営としては、たい肥の販売などで約1千万円の収入があるのに対し、施設の設備の大規模修繕なども増えてきており約4千万円の支出があり赤字であるということでしたが、ごみ処理負担金の抑制、健康増進、自然環境の美化等、赤字以上の還元があるとのことでした。隣町にこのような素晴らしい施設があることを今回の研修で知ることができ、大変勉強になり感銘を受けました。